3. お申し込み

- 参加費　　3，000円（1日参加は2，000円）
- 交流会費　5，000円
- お申し込み方法

  別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵送またはファクシミリにてお申し込みください。
  （宿泊不要の方も同様にお申し込みください。）

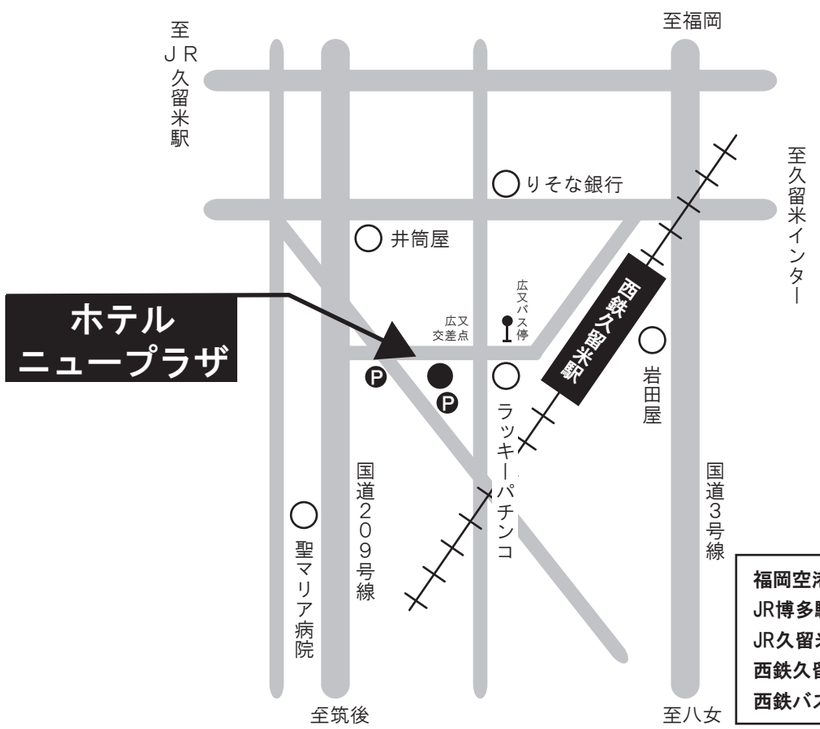
  お申し込みの方には、参加券を送付いたします。

- お申し込み締め切り日　平成16年12月17日（金）
- お申し込み・お問い合わせについて

【 フォーラムinくるめ実行委員会事務局 】 担当：國友・鹿子島

出会いの場 ポレポレ
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島468－2
TEL 0942－27－2039　FAX 0942－27－2086
E-Mail: h-polepole@ktarn.or.jp

4.案内図



交通アクセス

福岡空港より（高速バス）	５５分
JR博多駅より（特急）	３０分
JR久留米駅より（車）	７分
西鉄久留米駅より（徒歩）	１０分
西鉄バス（広又バス停下車）	

障害があるからこそ　ここで暮らす
そんなまちにしたい…

第1回 フォーラムinくるめ

聴こう・知ろう・みんなで創ろう

と き　2005年1月22日（土）・23日（日）

ところ　ホテルニュープラザ
福岡県久留米市六ツ門16-1　TEL 0942-33-0010

- ■ 定　員　500人
- ■ 参加費　3,000円（資料代含む）
- ■ 昼　食　お弁当1,000円×2日分（希望の方のみ）
- ■ 締め切り　12月17日

主　催　フォーラムinくるめ実行委員会

後　援　久留米市・久留米市社会福祉協議会・久留米市教育委員会
毎日新聞社・読売新聞西部本社・朝日新聞社・西日本新聞社（予定）

1. フォーラムinくるめの趣旨・目的

支援費制度に移行したことに伴い、障害のある人が主体性をもって、福祉サービスを利用できる流れができつつあります。そんな中、就労生活支援や地域支援のシステムづくりなど、障害のある人が地域の中で生活していく上での課題が明らかになってきました。

地方分権の時代を迎えようとしています。長年ノーマライゼーション社会の実現を目指して取り組んできた当事者・行政関係者や福祉医療関係者・教育関係者・事業者・市民が、地域福祉をさらに推し進めるために、国の施策やその問題点を知り、全国での先進的な取り組みに学ぶことが必要です。また、お互いの情報交換やきめこまやかなサービス提供のための連携が求められています。

地域が、全ての人にとって暮らしやすいように学習するためだけでなく、同じように連携の必要性を感じている人たちと出会い、膝を交えて話をする機会にしたいと思います。

■ ■ ■ このフォーラムがスタートです！みなさんと一緒に考えていきましょう ■ ■ ■

○全国で障害者の地域福祉をリードしている方達が集まります。
講師もパネラーも先進的な試みを実践している方達です。厚生労働省をはじめとした、国・県・市など、行政の方達も参加していただきます。ここでの討議が私たちの明日に直接つながることもあるでしょう。

○障害者の地域福祉に関わる多くの方が参加します。
様々な分野からの意見を聞くことができ、新しい発見もあるでしょう。また、地域で実際に活動している人たちに出会い、連携が生まれる場になることを期待しています。

2.プログラム 【出演者、内容等は予定ですので、変更することもあります。】

【１日目】 １月２２日（土）

９:００受付

9:30	シンポジウム①（地域移行・地域支援）
11:50	当事者からのメッセージ
12:30	昼　食
13:30	記念講演（厚生労働省　辻　哲夫氏）
14:30	ビデオ（久留米市のこれまで）
15:00	シンポジウム②（分権の時代）
17:00	交流会
19:30	交流会終了

【２日目】 １月２３日（日）

９:３０受付　１６:００閉会

10:00	シンポジウム③（これからの障害者施策の方向）
12:00	昼　食
13:00	シンポジウム④（地域支援のシステムをどう創るか）
16:00	閉　会

※ 講師の都合や社会状況などにより、プログラムの変更があることが予想されます。ご了承ください。

●シンポジウム①　「地域移行・地域支援」　【1日目】9:30～

今後どのように地域移行・地域支援を図ろうとしていくのか。就労生活支援やグループホーム等の実践を通して考えます。

◇ 比舗　進　（北九州市：北九州市障害者就業・生活支援センター所長）
◇ 進藤　和昭　（　福岡市：第1野の花学園施設長）
◇ 崎濱　秀政　（　沖縄県：障害者就業・支援センター ティーダ＆チムチム所長）
◇ 小野　ルミ　（久留米市：福岡県障害者雇用支援センター 就労支援ワーカー）
進行　島崎　春樹　（名古屋市：べにしだの家施設長）

● 当事者からのメッセージ　「わたしは、こんな暮らしがしたい」　【1日目】11:50～

現在、グループホームで暮らしている当事者に、語ってもらいます。

◇ 松本　隆幸　（大阪みんなの会）
◇ 玉木　幸則　（メインストリーム協会）

● 記念講演　「今後の福祉の動向について」　【1日目】13:30～

これからの福祉政策のキーワードは「地域」。中央の最新情報から将来を展望します。

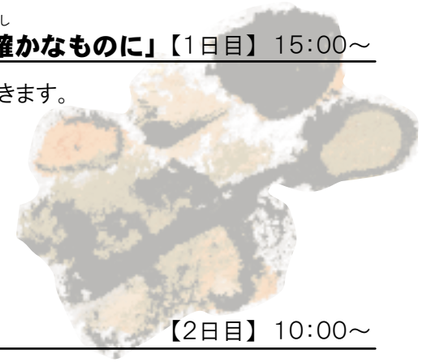
◇ 辻　哲夫　（厚生労働省　厚生労働審議官）

● 実践報告～久留米市のこれまで～（ＶＴＲ）　【1日目】14:30～

久留米市でこれまで取り組まれてきた地域で暮らす為の実践を紹介します。

● シンポジウム②　「分権の時代・地域での暮らしを確かなものに」【1日目】15:00～

分権の時代、地方自治体の福祉のあり方とは。リーダーの声を聴きます。



◇ 稗田　慶子　（福岡県副知事）
◇ 古川　　康　（佐賀県知事）
◇ 江藤　守國　（久留米市長）
進行　大熊由紀子　（国際医療福祉大学大学院教授）

● シンポジウム③　「これからの障害者施策の方向」　【2日目】10:00～

◇ 大塚　　晃　（厚生労働省　障害福祉専門官）
◇ 福岡　　寿　（長野県：北信圏域障害者支援センター長）

● シンポジウム④　「地域支援のシステムをどうつくるのか」　【2日目】13:00～

私たちの暮す地域に障害者支援のネットワークをどう創りだすかを考えます。

◇ 福岡　　寿　（　長野県：北信圏域障害者支援センター長）
◇ 副島　宏克　（　広島県：社会就労センター 因島であいの家　総合施設長）
◇ 古川　克介　（久留米市：フロンティア代表）
◇ 早川　　成　（久留米市：筑後地区ノーマライゼーション研究会代表）
◇ 丸林　敏幸　（久留米市：障害者生活支援センター ピアくるめ センター長補佐）
進行　廣瀬　明彦　（　京都府：相楽福祉会　常務理事）